



6月1日 学校再開



6月1日 1年生 初めての全員終日登校

ありがとう

一年学年主任 鈴木章文

世界じゅうの、誰も経験したことのない状況が生まれ、世界じゅうの誰もが、そこに飲み込まれた。誰も経験のないことだから、「未来」が見通せない。見通せないから誰もが、そう、不安になる。

誰も経験したことのない、そんな状況のなか、君たちは小学校を「卒業」し、中学校に「入学」した。卒業と入学の、その境目もよくわからないまま。冬の制服を、たった八回着ただけで六月一日、君たちはようやく「中学生」としてのスタートを切った。

ありがとう。入学してくれて。君たちの笑顔。君たちの歓声。君たちの元気。君たちの躍動。今はマスクやシールドに隠れているけれど、その下に、喜びと希望をたくさんもっていることを、私たちは知っている。

ありがとう。入学してくれて。いっしょにつくっていきましょう。誰も見たことのない、すごい学年を。きっとできる。だって、誰も経験したことのない世界を乗り越えてきた君たちだから。

生徒会活動

笑顔あふれる学校に

生徒会長 三年六組

渡辺 紗葉里

「一人ではなく、みんなで笑いあえる学校」

これは私が生徒会長に立候補した時の公約です。笑顔には人を元気にしたり、勇気を与えたりする力があると思っております。また、みんなが笑って学校生活を送ることができれば、温かな学校となり、みんながつと学校のことを好きになれると思います。私は、そのような学校を目指して、生徒会活動を進めていきます。

私が生徒会長に立候補する際、多くの仲間や先生方に支え



前期生徒会役員

てもらいました。心から感謝しています。その感謝の気持ちを忘れず、六ツ美北中学校のために全力で頑張ります。

中学校生活が始まって

始まった中学校

一年一組 三浦 例咲

私は中学校が始まって、いろいろと大変でした。まず、中学校は小学校と違って時間割や教科、授業などが変わりました。さらに、コロナウイルスの影響でマスクやフェイスシールドをして授業を受けるなど、環境も大きく変化しました。最初の一週間は、とても長く感じましたが、楽しいこともありました。新しい友達と話すことや、新しい教科の授業は楽しかったです。

中学校は忙しくて大変なので慣れないことも多いと思います。が、一日一日を楽しく過ごしてがんばりたいと思います。

MT (めたぶれタイム)

めあて 試し
ぶめ 分析 練習

好きに変わる瞬間

二年一組 本田 李麻

私は計画的に物事を行うのが苦手だ。だから、たくさんある学

習の中でも、繰り返し書いて覚えなければならぬ漢字は、特に好きではないし苦手だった

だが、今年から「めたぶれタイム」ができ、普段から具体的な範囲、目標を決めて学習することができるようになった。二回目の国語のめたぶれテストが漢字であると聞き、プリントも配られた。プリントを活用しながら勉強を進めたことで満点を取ることができた。「できる」という自信と小さな達成感

を感じることができた。他の教科でも良い点が取れるようになってがんばりたい。



夏の大会に向けて

今できること

野球部主将 三年二組

河野 琉成

「なんで、どうして」

僕は総体がなくなると聞き、悔しくてたまらなかった。総体では、オープンングゲームも決まっ

おり、とても楽しみにしていたからだ。今までやってきたことは無駄だったのか。ネガティブな言葉が頭をよぎった。だが、まだ市長杯があると聞き、少しでもネガティブなことを考えていた自分が恥ずかしかった。そして、その市長杯が僕たち三年生には最後の大会だ。正直、三か月のブランクは大きい。だが、このピンチをチャンスに変えて、今の仲間と一分一秒でも長く野球をしたと思う。

七月の予定

二、三日 七夕飾りをつくる会

六日 期末テスト範囲発表

ハイパーQUTテスト

十日 尿検査一次予備日

十五日 心電図・血液検査

十八日〜市長杯開始

二十日 給食終了

期末テスト週間

二十一日〜午前中五時間

四十分授業開始

二十七日〜期末テスト

二十八日 尿検査二次

* 予定は今後の状況によって変更となる場合があります。